

いのち

生命のメッセージ展

入場
無料

in 京都先端科学大学

4.23 亀岡集団登校交通事件から10年
今、伝えたいこと

日時

2022年4月18日(月) ~ 23日(土)

18日(月) ~ 22日(金) 10:00 ~ 17:30

一般の方は
申込制

お申込方法

平日は大学開催のため、**申込制**とさせていただきます。

展示閲覧を希望される方は、

①お名前、②メールアドレス、③電話番号、④参加希望日時(例:21日●時ごろ)⑤ご質問など

こちらのメールアドレスまでお送りください。✉ inochimessageinkuas@gmail.com

23日(土) 10:00 ~ 18:30

申込不要

※詳細は裏面をご覧ください。

シンポジウム「絶望とともに歩んだ先に」13:00 ~ 16:30 (受付は12:30より)

会場: 京都先端科学大学 京都太秦キャンパス 南館 嵯峨野ホール

第1部 被害者の声を届ける

13:00 ~ 14:30

第2部 パネルディスカッション

14:45 ~ 16:30

場所

京都先端科学大学

京都太秦キャンパス 西館 ハピネスホール

〒615-8577 京都府京都市右京区山ノ内五反田町18

●TEL:075-406-7000(代表) ●<https://www.kuas.ac.jp/>

京都市営地下鉄東西線 太秦天神川駅 下車徒歩3分

京福嵐山本線 嵐電天神川駅 下車徒歩5分

※京都太秦キャンパスには駐車場はありません。お出かけの際は、便利な市バス・地下鉄をご利用ください。

※来場の際は、不織布マスクの着用をお願いします。会場入口では検温・消毒をお願いします。



いのち THEIR LIVES WERE TOO SHORT.
生命のメッセージ展
in 京都先端科学大学

生命のメッセージ展とは、

殺人、悪質な交通事犯、一気飲ませ、いじめ等により理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役＝メッセンジャーとなり、「未来へつながる命」を守るためのメッセージを伝えるアート展です。

▶ **Messenger: メッセンジャー**

このメッセンジャーとは、犠牲者の方の等身大の人型パネルであり、このパネルには、生前の写真とメッセージ文を添え、足元に遺品の「靴」（足跡＝生きた証）を置いて、無念にも命を喪い、生きたくても生きられなかった犠牲者から「未来へつながる命」を守るためのメッセージを伝えるものです。



「亀岡集団登校交通事件」とは

2012年4月23日朝、京都府亀岡市の府道で、市立安詳小学校の集団登校の列に、当時18歳だった無免許の少年が運転する軽乗用車が突っ込み、小谷真緒さん(当時7歳)、横山奈緒さん(当時8歳)と付き添いで妊婦だった松村幸姫さん(当時26歳)と胎児が死亡、児童7人が重軽傷を負った事件。

シンポジウム「絶望とともに歩んだ先に」

参加申込不要

日時

2022年4月23日(土) 13:00~16:30

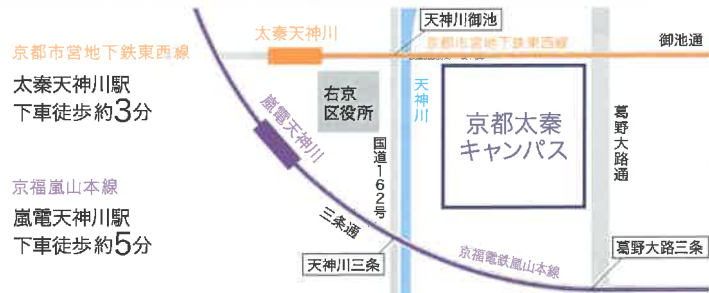
(受付は12:30より)

場所

京都先端科学大学

京都太秦キャンパス

南館 嵯峨野ホール



第1部

13:00~14:30 講演「被害者の声を届ける」

小谷真樹・中江龍生(亀岡交通事件遺族)

第2部

14:45~16:30 パネルディスカッション

テーマ:遺族と考える「償い」

コーディネーター: 広瀬一隆氏(京都新聞社)

パネリスト: 石塚伸一氏(龍谷大学法学部教授)

仲 律子氏(公益社団法人みえ犯罪被害者総合支援センター副理事長)

中江美則氏(亀岡交通事件遺族・更生保護団体ルミナ代表)

高田絵里氏(亀岡交通事件遺族)



主催 「生命のメッセージ展in京都先端科学大学」実行委員会、京都交通事故被害者の会『古都の翼』、特定非営利活動法人いのちのミュージアム

後援 京都府、京都市、亀岡市、京都府警察本部、公益社団法人京都犯罪被害者支援センター、文部科学省、法務省、警察庁、国土交通省など

協力 アート引越センター